

ラベル表示における毒劇法及びPRTR法対応

分類	薬剤の種類	対応する内容
1	原液のまま使用する劇物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ秤量し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水は圃場等で使用する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
2	原液のまま使用する劇物・危険物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ秤量し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水は圃場等で使用する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
3	原液のまま使用する普通物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ秤量し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
4	希釈して使用する劇物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。 ○火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
5	希釈して使用する劇物・危険物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
6	希釈して使用する普通物の乳剤、液剤、フロアブル剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
7	希釈して使用する劇物の水和剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
8	希釈して使用する普通物の水和剤	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
9	劇物の粒剤、粉剤DL	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ秤量し、使いきる。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
10	普通物の粒剤、粉剤DL	<ul style="list-style-type: none"> ○使用量に合わせ秤量し、使いきる。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。 ○火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。 ○漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。 ○移送取扱いは、ていねいに行く。
11	製剤のまま使用する魚類に強い影響を及ぼす恐れがある薬剤	<p>水産動植物（魚類）に強い影響あり。河川、湖沼、海域、養殖池に飛散・流入しないよう注意。養殖池周辺での使用はさける。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さない。圃場内の農作物の植え付けされていない、周囲に影響のない地点を選び、土壌表面に散布等の処理をする。空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。</p>
12	希釈して使用する魚類に強い影響を及ぼす恐れがある薬剤	<p>水産動植物（魚類）に強い影響あり。河川、湖沼、海域、養殖池に飛散・流入しないよう注意。養殖池周辺での使用はさける。使用残りの薬液が生じないように調製し、使いきる。散布器具・容器の洗浄水等は河川等に流さない。空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。</p>